

マンスリータイムズ

11月号

はまゆう支援学校

南紀支援学校との交流(寄宿舎)

10月27日、はまゆう支援学校寄宿舎生と南紀支援学校寄宿舎生で交流会をしました。5月には南紀支援学校の体育館で、自己紹介をしたり体を使ったゲームをしたりして親睦を深めました。今回は2回目の交流ということで、はまゆう支援学校のグラウンドで、一緒にグラウンドゴルフを楽しみました。天気の都合で1週間延びたこともあり、舎生はこの日を待ち望んでいました。高等部3年生の中嶋拓磨君のあいさつから始まり、体操をして準備は万端！各自スティックとボールを持ち、4班に分かれてグラウンドゴルフはスタートしました。ねらいをホールポストに決めて、みんな一球一球丁寧に打っていました。力の加減が難しいようで、自分の番がくるまでの時間を有効活用して練習している舎生もいました。打数を競い合うスポーツなのですが、他の人が打っている間も声をかけたり、アドバイスをしたりと、優しい場面もみられました。5ホールを順番にまわり、打数の合計が一番少なかった班が優勝です。一番に呼ばれた班は「やったー！！」と大喜び、大変嬉しそうでした。中には悔しい表情を浮かべる舎生もいました。班ごとに集合写真を撮って、第2回交流会は終了しました。帰り際には、双方の寄宿舎生と職員が「さようなら」と笑顔であいさつを交わしていました。



エビとカニの巡回水族館

10月24日(金)すさみ

海立エビとカニの水族館の巡回水族館が、はまゆう支援学校の第一遊戯室にやってきました。



ウミガメの水槽が二つ、エビやカニ、ヒトデやナマコなどが入ったタッチングプールが二つ、ヤシガニ(触れません)とたくさんの海の生き物に加え、県立自然博物館からシカやイノシシ、タヌキなどの剥製に昆虫の標本、サメの歯等々を持ってきて頂き、盛りだくさんの内容でした。小中高ともブロックや学年単位で見学し、ウミガメの子どもを持ったり、ヒトデやナマコに触ったり、シカの頭をなでたりと大喜びで見学し、水族館や博物館の職員の方の説明に聞き入っていました。日頃から自然に親しむ機会の少ない本校の児童生徒にとって、貴重な経験になりました。エビとカニの水族館、県立自然博物館の方々、ありがとうございました。

中学部3年修学旅行(東京方面)

10月29日(水)～31日(金)にかけて東京方面の修学



旅行に行ってきました。(1日目)紀伊田辺駅に集合し、特急くろしお号で出発。新大阪で新幹線のぞみ号に乗り換え東京に向かいました。天気がよかったので、途中綺麗な富士山を見ることができました。東京での最初の見学先は「東京スカイツリー」。エレベーターの速さとどこまでも見える景色に感動の生徒たちでした。(2日目)東京ディズニーランドで1日過ごしました。集合写真の後、各グループに分かれ活動。事前に決めていた行程に沿ってアトラクション巡りを行いました。予定のアトラクションを全て乗れたグループもあり充実した1日を過ごしました。また、ハロウィン期間中で仮装したお客さんが多くとても賑やかで、一緒に写真をとってもらった生徒もいました。

(3日目)お台場へ行きました。ガンダム像や自由の女神像、フジテレビを見学しました。フジテレビでは、番組の紹介ボードを見学したり、芸人等身大パネルと一緒に写真を撮ったりしながら楽しみました。帰りは飛行機。保安検査や搭乗口で緊張気味の生徒たちでしたが、飛行機での移動も経験することができました。



宿泊先は「ホテルエミオン東京ベイ」。とっても綺麗なホテルで一部屋に和室と洋室があり、大浴場も設置されていました。そんな環境の中で生徒たちもゆったりと過ごす事ができ、自然と友だちと

の交流も深まりました。2泊3日の旅は、友だちとの絆を深め、生活経験を拓げる機会となりました。

支援体連陸上競技大会

10月31日(金)、紀三井寺運動公園にて第29回和歌山県支援学校体育連盟陸上競技大会が行なわれました。県内8校の学校が一斉に集い、本校高等部も83名の生徒が参加しました。はまゆうは各競技6位までの入賞者が18名と大奮闘、さらに400mリレーでは男子が優勝、女子が3位と輝かしい成績をおさめました。男子においては400mリレー3連覇となりました。練習の成果をしっかりと発揮し、生徒一人ひとりが個人の力を高める機会となりました。また、他校の生徒との交流という意味でも、充実した一日になったことだと思います。



第36回文化祭

11月16日(日)はまゆう支援学校の文化祭を開催しました。午前中は体育館で舞台発表、午後からは小中学部棟でバザーを行いました。

舞台発表 小学部

小学部は、低ブロック(1.2年)中ブロック(3.4年)高ブロック(5.6年)の3グループが午前の舞台発表に出演しました。



まず、始めに1.2年生の発表がありました。10人すべてが主役の「働きアリ」になって食べ物をゲットしたり、その食べ物を使って大きなケーキを作っていました。かわいい衣装を身にまとい、コミカルにしかも正確にケーキのパーツをのせていき、みんなでおいしそうなケーキを完成させました。その後、パラバルーンを使っての演技があり、ほほえましい仕草から思わず観客も笑顔となっていました。最後に出演者の紹介もあり大きな拍手をもらいました。

3.4年生の発表は、テレビゲーム「スーパーマリオ」の世界をはまゆう版にリメイクしたお話で、キッズマリオたちがかわいいピーチ姫を「ゆかいなダブルクッパ」から取り戻すという冒険ストーリーでした。クッパから様々なクイズを出され、マリオ、ルイージ、キノピオ、ヨッシー役の子どもたちが次々と答え、大きなメダルをゲットしていきました。最後はみんなで「火の玉ボール」をつかって大乱戦。激戦の末ダブルクッパをやっつけました。(途中から何故か捕らわれし身の姫も果敢に参戦していましたが・・・(笑))



最後は、仲直りしみんなで楽しいダンスを披露して大団円を迎え、拍手喝采を得ていました。

5.6年生の発表は、音楽の授業で行ってきた歌と太鼓や御輿を使った祭りを披露しました。歌の発表では、「こいのぼりがおよぐ」を何人かが前に来て独唱し、その後様々なアクションを表現していきました。ときには優雅に、ときにはきびきびと、はたまたコミカルにと楽しい踊りとなりました。歌の最後には全員でつながって大きなこいのぼりとなりそのままフェードアウト。



第2幕ではキーボードを使っての「秋祭り」の演奏にはじまり、大太鼓、御神輿、チャンチキによる賑やかなお祭りが披露されました。太鼓は3グループに分かれ、それぞれリズムに合わせて威勢良く叩いていました。中学部、高等部の太鼓もありましたが、それにも負けず劣らずの名演技でした。

中学部は、昨年に引き続き3部構成の音楽の舞台発表でした。タイトルは『雨のち晴レルヤ』。最初に登場した和太鼓Aチームは、「雨」をテーマに演奏しました。和太鼓や鈴、マラカスを使って雨の降る様子を軽やかに表現しました。2番目登場の和太鼓Bチームは「祭太鼓」。チャンチキや締太鼓のリズムに合わせた大太鼓と「わっしょい、わっしょい」のかけ声。賑やかな祭りの様子を表現しました。最後は、中学部全員による歌唱『雨のち晴レルヤ』でした。「どんなつらいことがあっても最後には笑顔になれるよ」というメッセージを歌に込め、一生懸命歌ったり友だちと一緒に体を動かしたりして表現しました。午後のバザーでは、各学年毎に紙工製品や木工製品を販売しました。3年生の紙工製品、ポチ袋やカレンダーは大人気で、すぐに完売。舞台発表やバザーと1日を通して一生懸命取り組んだ中学部生徒たち。大変充実した時間を過ごしました。

中学部



高等部



高等部1年生の舞台発表は『ズンバ!』～みんなで踊る文化祭!くりきんとん!～という題名のダンスを行いました。まずは男子11名が、エクザイルのメドレーに乗ってダンスを披露しました。「ライジングサン→チューチュートレイン→ウォンビーロング」の曲に乗って男っぽいダンスを踊りました。2番目にAKB48の「恋するフォーチュンクッキー」を女子7名、男子4名で踊りました。3番目には人気アニメ「凧として咲く花の如し」をオリジナルの振り付けで、男子10名が踊りました。最後は全員で『ソーラン節』を踊りました。熱気あふれる演技に体育館は大盛り上がりでした。1年生だけで協力しながら何かを作り上げるのは、宿泊学習に次いで2回目です。踊った後に笑顔になれるようみんなで力を合わせて頑張りました。

高等部2年生の舞台発表は『まつり～オキナワ～』 二つのグループに分かれ、それぞれがパーラック(手持ち小太鼓)を使用して、“エイサー”に取り組みました。「風ぐる一ぷ」はエイサー・シンカ、「海ぐる一ぷ」は安里屋(あさどや)ユンタのメロディーに乗せて【協調】をテーマに演じました。はじめ聞きなれないメロディーに戸惑いながらも、練習を重ねるごとに持ち前の感のよさを発揮しみるみる上達し、見ている私たちをわくわくさせる場面も何度かありました。最後はみんなで「アンマー(沖縄の方言で母を意味します)」の合唱です。この思い沖縄に届けと精いっぱい声を出していましたよ。日程的にきつい部分もありましたが高等部2年生として恥じない演技と絆を披露してくれた文化祭でした。



高等部3年生の舞台発表のテーマは「友情」～夢に向かってLet's Go～ 3年間共に過ごした仲間との友情を文化祭で表現できる最後の機会となりました。1年生の時から行ってきたよさこい踊り。会場にいるみなさんと一緒に踊りたいという気持ちを胸に、約1ヶ月間、文化祭を盛り上げようと日々練習を繰り返しました。当日の舞台発表ではB'zのBLOWIN。AKB48の心のプラカード。アナと雪の女王のありのまま、の曲を交えながら、可愛らしく、また格好良く、いきいきとした表情で自信を持ってダンスを披露する姿が見られ、会場一体となって大いに盛り上がり26年度はまゆう文化祭のフィナーレを最上級生として発表することができました。



バザー・作品展示



午後1時30分からは、児童生徒が楽しみにしていたバザーの時間です。小中学部棟の1階には育友会主催のゲーム等のコーナーや近隣の作業所のお店が、2階では、中学部作業班のお店、高等部作業の木工、窯業、縫製、皮革のお店に、文化祭実行委員会が主催する本・CD、おかしのお店が並び、大勢の人で大混雑でした。お小遣いの入った財布を持って、お店を回る子どもたちに、お店の店員として大きな声で「いらっしゃいませ」と声をかける子どもたちと大変にぎやかでした。2時過ぎには紀の国わかやま国体・わかやま大会のマスコットキャラクター「きいちゃん」も登場し、子どもたちがたくさん集まってきて大いに盛り上がりました。

また、管理棟2階では音楽室から図工室までの特別教室と廊下に各学部・寄宿舎の子どもたちの素晴らしい作品に、近隣の小中学校からの作品が並び文化祭を盛り上げてくれました。子どもたちが一生懸命作った作品には多くの賞賛の声が聞こえました。



12月の行事予定

- ・12月 3日(水) 高等部参観日(午後)
- ・12月10日(水)～12日(金) 高等部2年修学旅行(沖縄方面)
- ・12月12日(金) 小学部参観日(午前) 中学部参観日(午後)
- ・12月13日(土) 乗馬体験
- ・12月22日(月) 終業式

